

① 密集・狭隘

狭隘な道路において消防用ホースなどの資機材を効率的に搬送することにより、消防隊及び消防団（以下「消防隊等」という）の消防活動を容易にするもの（道路幅員2.3mや90cmといった狭い路地を想定）

例：小型消防自動車、電動ホースカー、電動キャリーなど

② 水利確保

消火用の水源を確保しにくい場所において、大量の水をためられるものや、自然水利から大量の水を送れるもの

例：簡易水槽、長距離ホース延長車、大容量放水システムなど

③ 情報収集

火災の発生や延焼範囲などの情報を容易に収集できるもの

例：AI火災検知定点カメラ、熱源位置特定カメラ、火災現場監視ドローンなど

④ 情報共有

消防隊等が容易に災害状況や自身の活動状況などを情報共有（映像含む）できるもの

例：ウェアラブル通信カメラ、多機能携帯無線機、デジタル指揮卓、消防団アプリなど

⑤ 延焼防止

消火薬剤や水を効果的に放水することにより、延焼を防止できるもの

例：水幕ホース、延焼防止用薬剤放水車両、消火用ロボット、消火用ドローンなど

⑥ シミュレーション

気象条件などを入力することにより、効果的な消防活動に資するシミュレーションができるもの

例：市街地延焼シミュレーション、風向予測シミュレーションなど

⑦ 可燃物除去

倒壊建物などを容易に移動または破壊できるもの

例：遠隔操作重機械、ミニクローラークレーンなど

⑧ 安全管理

消防隊等の位置や心拍などを指揮本部等と共有することにより、安全管理を容易にできるもの

例：GPS付きスマートウォッチ、熱中症危険予知ウェアラブル端末など

⑨ 飛び火警戒

飛び火の状況を正確に把握又は予測し、効果的に消火等を実施できるもの

例：飛び火を狙い撃ちできる消火用ドローンなど

以上